

小学校5・6年生～

2022年12月 no.84

2022

よんでネット*

冬号

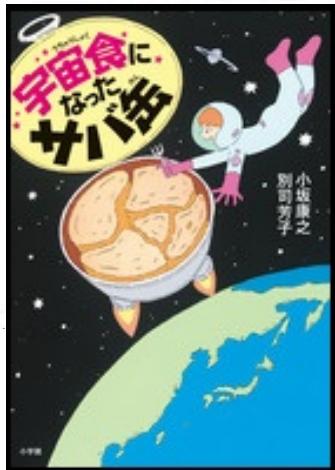
発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

宇宙食になったサバ缶

小坂康之 別司芳子 著

2020年11月27日、国際宇宙ステーションで野口宇宙飛行士が「おいしーい！」と絶賛したサバ缶は、高校生が開発した。「ここでつくったサバ缶を、宇宙に飛ばせるんちゃう？」という生徒の一言から、若狭高校の宇宙食開発は始まった。宇宙で食べなくなる味って？無重力で水分が飛び散らないようにするには？

14年かけて夢のバトンをつなげた高校生の挑戦！



小学館
[66コ]

なまはげ

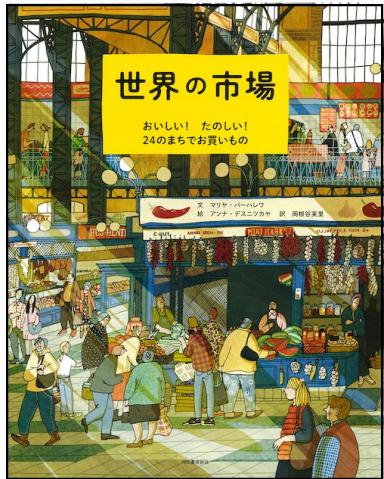
池田まき子文 早川純子絵

ある大きな国から、男鹿半島にやってきた父鬼、母鬼と三匹きの子ども鬼。人間の役に立つようせせと働く。だが、父鬼、母鬼はつかれ果て死んでしまう。子ども鬼たちは、親をなくした悲しみをはらすかのようにあはれるようになる。こもった村人は、鬼たちとある取り引きをするが…。

秋田県の季節行事「なまはげ」の由来となった昔話。



汐文社
[E・絵本のコーナー]



河出書房新社
[E・絵本のコーナー]

世界の市場 おいしい！たのしい！24のまちごお買い物の 文 マリヤ・バーハレワ 絵アンナ・デスニツカヤ 訳 岡根谷実里

市場に、行ったことはある？ 野菜や肉や魚、おやつも売っているんだ。いまは、スーパー やオンラインで買えるものができるけど、100年くらい前までは市場は、食料を買うことのできる唯一の場所だった。どんなお店があって、訪れる人々は、どんな食材で、どんな料理をつくらんでしょう。さあ、世界中の市場を探検しよう！

荒野にヒバリをさがして アンソニー・マゴーウン作 野口繪美訳

春のはじめ、ニックーは特別支援学校に通う兄ケニーと愛犬ティナを連れて、父さんにすすめられた国立公園へヒバリを見に出かけた。ところがとつせんの猛吹雪で道を見失う。「家に帰りたい」とぐずるケニーをなぐさめながら、スマートに電波に入るようにな崖の先に高く持ち上げた。ところがスマートは手からすべり、焦ったニックーは崖から転落して…。



徳間書店
[933マ]



評論社 [933モ]

アーニヤは、きっと来る

マイケル・モーバーグ作
佐藤見果夢訳

第二次世界大戦中のフランス。ピレネー山脈の麓の小さな村に住む12歳の少年ジョーは、戦争に行つた父の代わりに羊飼いをしていた。ある日、山の中で見知らぬ男に出会ったことをきっかけに、ジョーはユダヤ人の子ども12人の命を手助けすることになる。ドイツ兵が駐留している中、やがて村人全員を巻き込んだ大騒動に…。